宇久っ子

学校だより
令和３年１０月１３日
文責　日髙　智明

【教　育　目　標】ふるさとを愛し、主体的に学習し、自らの判断で正しく行動できる児童の育成
【キャッチフレーズ】元気いっぱい・笑顔いっぱい・花いっぱい
【こんな子どもに】か し こ い 子・や さ し い 子・げ ん き な 子

学校ＨＰ

後期始業式

　後期が始まりました。後期は、延期になっていた5･6年生の宿泊体験学習など子供たちが楽しみにしている行事があります。前期でがんばってきたことを継続し、しっかり身に付けられるように実りの多い後期にしたいと思い、始業式では以下のような話をしました。（抜粋）

「実るほど　頭を垂れる　稲穂かな」という言葉を聞いたことがありますか。田の稲穂が黄金色に色づきしっかりと実っている様子を表した言葉です。今日から、後期が始まります。後期は、できることをくり返し行い、確実にできるという「自信」をもつことが目的です。そして、できることがあたりまえになるようにして、自分の成長を確かなものにし、私たちも稲穂のように実り多い後期にしたいと思っています。後期もしっかりがんばっていきましょう。

　実り多い後期にするために、これまでも行ってきた「3つのがんばること」を続けていきます。もう言えますね。「何度でもチャレンジする」「自分から元気にあいさつする」「上級生は下級生の手本になる、下級生は上級生のよさを見つめる」です。3つのがんばることを後期もしっかり取り組んでさらに**自信**をつけていきましょう。

　こんなお友達を見かけましたよ。「みんなが使った道具を、自分から片づけてくれていました。」また、こんな人もいました。「廊下に落ちているゴミを拾ってゴミ箱に入れてくれていました。」他には、「友達とおしゃべりしながら歩いている時に、地域の人からあいさつをされたのですが、自分たちのおしゃべりを止めてあいさつを返していました。」この3人のお友達がしていることは、あたりまえのことだと思いませんか？いろいろなことは、全てあたりまえの積み重ねなのです。しかも、さっき紹介した3人は、してもらうのではなく、**自分から行動**している点も共通しています。してもらうことがあたりまえではなく、自分から行動することがあたりまえだということですね。

　「実るほど　頭を垂れる　稲穂かな」は、立派に成長した人間ほど頭の低い謙虚な姿勢であるという意味を表す言葉として使われます。つまり、いろいろなことができるようになっても、できるからと言って威張ったり、必要以上に自慢したりせず、自分ができるようになるまでにかかわってくれた人に感謝し、もっとがんばっていこうとする気持ちをもつことが大切だということを教えてくれている言葉なのです。かかわってくれた人に感謝し、もっとがんばろうとする人は、人にしてもらうことを期待するのではなく、自分から行動することができます。3つのがんばることは、どれも自分から行動する内容になっています。後期も、3つのがんばることにしっかり取り組み、自分から行動できる宇久っ子になっていきましょう。

裏面へ

「育てる授業」をめざしています！！

今年の１月に中央教育審議会の答申で、２０２０年代を通じて「令和の日本型学校教育」を実現させることが盛り込まれました。詳しい内容については、ここでは割愛させていただきますが、この答申を受けて宇久小学校ではどんな授業をめざしているのかについてお話させていただきます。

「子供たちの可能性を引き出し、**将来生きてはたらく能力**を育てる」ために、「教える授業」から**「育てる授業」**へ転換しています。

話し合った内容をホワイトボードにまとめ、自分たちで学習を進めています

現在宇久小学校では、３年生以上で複式授業を行っていますが、子供たちが自分たちで授業を進めることができるように指導しています。子供たちが自分たちで授業を進めることができるようになれば、家庭でも自分で学習を進めることができ、子供たちの学ぶ力が育ちます。また、学習活動の中に子供たち同士が意見を交わすなど一緒に活動する時間を設定し、お互いのよさを認め協力し合ってよりよい考えにしていく経験を仕組み、自分たちで学習をさらに深めていけるようにしています。このような授業を行うことで、将来生きてはたらく能力を育てることができると考えています。しかし、育てる授業では、個々の状況や特性に合わせて授業を進めるので、さまざまな対応が必要になります。そのための新しい学習道具が、一人一台のパソコンです。パソコンの実際の活用例については、またの機会にお話することにしますが、パソコンを活用することで一人一人の学習の進み具合に合わせた活動が可能になり、学習内容の理解に困っている子供へ教師が支援する時間を確保することにもつながります。実際の授業の様子については、ホームページでも紹介しています。育てる授業について、少し感じていただけると思います。

【図書室貸出冊数】

目標	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
低	１０	１３	１３	１３	５	１３	１３	１３	１３	１３	１３	８	140
中	１０	１２	１２	１２	５	１２	１２	１２	１２	１２	１２	７	130
高	１０	１０	１０	１０	５	１０	１０	１０	１０	１０	１０	５	110
結果	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
低	7.6	8.5	24.4	10.5	4.4	18.6							
中	13.1	18.8	28.5	12.6	4.6	13.5							
高	6.8	16.3	19.1	12	4.4	9.7							
全	9.7	15	24.7	12.1	4.5	14							

８月は夏休みで貸出冊数も少なかったのですが、９月は７月よりも増えていました。１０月は、また福井先生が企画を考えてくださっているようです。楽しみです。